

薬物乱用防止教室

8月19日(水)、6年生が薬物乱用防止について学びました。薬物を不適切に服用したり、禁止薬物を摂取したりすると脳が委縮し、記憶や認知の機能が著しく損なわれることを教わりました。そのほかにも薬物の依存性やフラッシュバックする特性など一度手を染めたら抜け出せない薬物乱用の恐ろしさにもついて知りました。



以前、二俣川に薬物の自動販売機が設置されていたことがあったり、横浜駅前でお菓子を装って薬物を配ったりしていたこともあったんだよ。

無くなってよかった

ええ、怖いなあ。そんな身近にあるなんて。

授業の最後に、『もし薬物を勧められたとき、自分だったらどうするか』について近くの席の友達と意見交換をしました。

「僕は、いらないと言う。」「断るってことだね。」「みんなやってるよと言われても強い気持ちで断ろうと思う。人は人、と思って真似したり流されたりしないようにしたい。」など、しっかりと考えていました。